

～メッセージ～
みなみの風にのせて



たんぼぼ学級の時間割

たんぼぼ学級の児童は、自分たちの学年の教室とたんぼぼの教室と2つの教室で学習しています。たんぼぼの教室では、「国語」や「算数」といった教科の時間の他に「日常生活の指導」「生活単元学習」「遊びの指導」という時間があります。たんぼぼ学級のみんなといっしょにそうじをしている6年生の児童たちは、黒板に書いてある時間割を見て、「どんなことをするの」と質問した人もいました。今回は、「日常生活の指導」「生活単元学習」「遊びの指導」について説明します。

日常生活の指導

「日常生活の指導」を、たんぼぼでは略して「にっせい」と呼んでいます。また毎日1校時目に行うことが多いので「朝の会」とも呼んでいます。児童の日常生活が充実し、高まるように指導するものです。広い範囲で多様な内容が扱われます。例えば、衣服の着脱、手洗い、排泄などの基本的な生活習慣の内容や、あいさつ、言葉遣い、礼儀作法、時間を守ること、きまりを守ることなどの集団生活をする上で必要な内容などです。児童の実態に合わせて内容を設定しています。

「日常生活の指導」は生活の流れに沿って行うことについても含まれます。学校生活で児童が毎日ほぼ同じように繰り返す活動には、持ち物の整理、係の仕事、給食、掃除、帰りの支度などがあり、全て「日常生活の指導」に含まれます。

たんぼぼ学級の教室では、毎日1時間「日常生活の指導」の時間をとり、

繰り返し行うことによって・気持ちを安定させ望ましい生活習慣の形成を図っています。

~~~~~ **生活単元学習** ~~~~~

「生活単元学習」も略して「せいたん」と呼んでいます。児童が生活上の課題処理や問題解決という一連の目的をもった活動を経験し、自立的な生活に必要な事柄を実際的・統合的に学習するものです。

学習活動は、実際の生活から発展し、児童の興味・関心に沿ったものや身につけた内容が生活に生かされるものであることを考慮しています。豊かな内容を含む活動で組織され、多種多様な経験ができるように計画しています。

季節に合った料理「よもぎだんご」を作ったり、実際に切符を自分で買って電車やバスに乗ったりすることも「せいたん」の時間に入ります。

~~~~~ **遊びの指導** ~~~~~

「遊びの指導」は、遊びを学習活動の中心に据えて、身体活動を活発にし、仲間との関わりを促し、意欲的な活動を育てていくものです。

「遊びの指導」には、各教科の内容をはじめ、道徳、特別活動の内容が含まれています。「遊びの指導」を自由遊びと課題遊びとに分けることがあります。自由遊びは、児童が自由に取り組む遊びです。一方、課題遊びは、砂、紙、粘土、ダンボール、積み木、ボールなどで設定した一定の場や遊具などで、課題に沿って取り組む遊びです。これらの課題が音楽、図画工作、体育などの学習の課題へと移行し、発展していきます。

輪投げの遊び一つをとっても、順番を守る・友だちがやるのを待つ・勝ち負けを受け入れるなど楽しく遊ぶ経験をするためにはいろいろな要素があります。一つひとつの場面をとらえて具体的にどうしたらいいかを学習しています。